

前期実施計画の構成及び方向性について





前期実施計画の構成

基本方針	前期実施計画
<p>第1 計画策定の趣旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校教育を取り巻く環境 2 本県が目指す人財の育成 <ol style="list-style-type: none"> (1)新しい時代を主体的に切り拓くことのできる人財 (2)新しい時代に求められる資質・能力 3 計画策定の目的 4 計画策定の視点 	<p>第1 前期実施計画の策定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 策定の趣旨 2 計画期間
<p>第2 高等学校の魅力づくりに向けた基本的な考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画の構成・期間等 <ol style="list-style-type: none"> (1)構成と期間 (2)継続的な検証 2 地域とともにある高等学校づくり <ol style="list-style-type: none"> (1)実施計画策定に向けた取組 (2)高等学校教育の充実に向けた取組 3 魅力ある高等学校づくりの3つの柱 4 新しい時代における県立高等学校入学者選抜制度の在り方 	
<p>第3 生徒が「行きたい」と思う各校の魅力づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特色化の推進 2 教育活動の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1)柔軟で質の高い学びの推進 (2)柔軟な学び方の提供 (3)生徒の学びを支えるきめ細かな指導と支援の充実 3 学校や社会とつながる多様な学びの充実 	<p>第2 生徒が「行きたい」と思う各校の魅力づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 柔軟で質の高い学びの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・単位制 ・少人数学級編制 2 新たな時代を見据えた学びの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・教育DXと遠隔教育の推進 ・探究的な学びの充実 3 教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との連携・協働 ・特別な教育的支援を必要とする生徒等への指導・支援 ・あおり留学（全国からの生徒募集）
<p>第4 生徒が「学びたい」と思う各学科の魅力づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 普通教育を主とする学科及び普通科系の専門学科 2 職業教育を主とする専門学科 3 総合学科 	<p>第3 生徒が「学びたい」と思う各学科等の魅力づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全日制課程 <ol style="list-style-type: none"> (1)普通教育を主とする学科及び普通科系の専門学科 (2)職業教育を主とする専門学科 (3)総合学科 2 定時制課程・通信制課程
<p>第5 生徒の「行きたい」「学びたい」に応える学校配置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全日制課程における学校配置の観点 <ol style="list-style-type: none"> (1)高等学校教育を受ける機会の確保 (2)充実した教育環境の整備 2 全日制課程における学校配置の方向性 <ol style="list-style-type: none"> (1)学校配置の考え方 (2)地域等と一体となって学校の活性化に取り組む高等学校への対応 3 定時制課程・通信制課程における学校配置の観点 4 定時制課程・通信制課程における学校配置の方向性 <ol style="list-style-type: none"> (1)定時制課程 (2)通信制課程 	<p>第4 生徒の「行きたい」「学びたい」に応える学校配置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全日制課程 <ol style="list-style-type: none"> (1)地区ごとの学校配置計画 (2)地域共育校の概要 2 定時制課程・通信制課程 <ol style="list-style-type: none"> (1)定時制課程 (2)通信制課程



前期実施計画の方向性

単位制や少人数学級編制の方向性

【検討委員会における主な意見】

<単位制>

- ・柔軟な教育課程の編成等が可能となることから、普通科等でも単位制を拡充する必要がある。
- ・多様な子どもたちの柔軟な学びのため拡充する必要がある。
- ・学びを途切れさせないための単位制を活用した新しい学びの場も必要である。

<少人数学級編制>

- ・中学校卒業予定者数が減少している中、少人数学級編制を実施し、学級数を維持することも必要である。
- ・生徒一人一人にきめ細かな指導を行うことを目的に実施することが考えられる。
- ・多様な生徒への対応や、実習が多い職業学科における教育活動を考えると、少人数学級編制の実施は重要。

単位制

- 普通科の一部と総合学科は導入済
- 残りの普通科を有する高校への導入を検討

少人数学級編制

- 農業科、工業科、水産科で実施済
- 商業科及び家庭科での実施を検討

県全体で個に応じたきめ細かな指導が充実

普通教育を主とする学科の方向性

【検討委員会における主な意見】

- ・普通科の魅力化・特色化を推進するため、新たな学科を設置すべき。
- ・課題解決能力等を身に付けさせるため、中学生のニーズ等を踏まえながら、デジタル分野に関する学科や探究科等を設置する必要がある。
- ・進学に特化した普通科や地域探究を行う普通科等、地域や中学生等のニーズに対応した特色ある普通科への改編も必要である。

[方向性]

大学や地域、関係機関との連携等により特色ある教育活動を推進する**新たな学科を設置し、普通教育を主とする学科において県全体の特色化・魅力化を進める。**

New

デジタル分野に関する学科

New

地域社会に関する学科

New

学際領域に関する学科

新学科の設置

学科名 (仮称)	学科の特徴	教育活動の例
データサイエンス科 (デジタル分野に 関する学科)	Society5.0の実現や企業・地域のDX推進に必要とされるスキルや社会の状況等に着眼し、大学や企業等と連携しながら、専門性の高い外部人材による講義や最新技術を用いた体験的な学び等を積極的に展開し、AI・IoT・DXの進展に対応できる資質・能力の育成につながる学びの充実に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 統計やデータ分析について学んだ上で、本県の観光客動向と人流動態・地理情報・交通情報等の地域生活に関するビッグデータを重ねて分析し、オーバーツーリズムを生じさせにくい効果的な観光振興策をデータに基づき検討する。 地域交通マップ・人口分布・指定避難所一覧等のデータを基に地域の立体ハザードマップを作成し、災害発生時における住民の移動経路や避難所要時間をコンピュータ上で推計・シミュレーションすることで、避難時に想定される副次的災害リスクを可視化し、地域の防災計画を検証する。
未来デザイン科 (地域社会に 関する学科)	地域社会の課題や魅力に着目し、地域社会が有する交流や活動のネットワークを最大限に活用しながら、事例研究やフィールドワーク等を行うとともに、地域行事への参加等、地元自治体と連携した体験的な活動に取り組むなど、地域社会に関する理解の深化と学びの充実に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 特産物を使用した商品を地元企業と共同で開発するとともに、地元自治体の協力を得ながら、開発した商品を用いて地域をPRする活動を体験する。 地元自治体と同様の課題を抱える県外の自治体を訪問し、課題や改善策について実地調査を行いながら、地域振興について多角的に考察する。
探究科 (学際領域に 関する学科)	SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴って生じる、複合的かつ分野横断的で、ボーダレスな課題等に着眼し、大学等と連携しながら、自ら設定した課題に関する学びを深め、その成果を表現・共有するほか、各教科・科目における学びと関連させ、学校全体として探究的な学びの充実に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 部活動で取り組んでいるスポーツにおける女性の参加に関する課題の分析等を通じて、社会におけるジェンダー平等について考察する。 大学の研究室の助言を受けながら、積雪による被害の低減や豪雪耐性の高い市街地の在り方について実証的に研究する。

職業教育を主とする専門学科の方向性

【検討委員会における主な意見】

- ・ 技術革新の進展や地域の産業構造を踏まえ、産業の発展に向けて主体的に取り組む人財や地域の産業を支える人財を育成するための学校・学科が必要である。
- ・ 時代のニーズに合った学科や将来の職業に繋がる学科の設置が考えられる。
- ・ 職業学科は後継者育成の観点から無くしてはならず、入学者数を確保する施策が必要である。
- ・ 農業や水産業、商工業に関する学びは、担い手育成の観点から必要である。

[方向性]

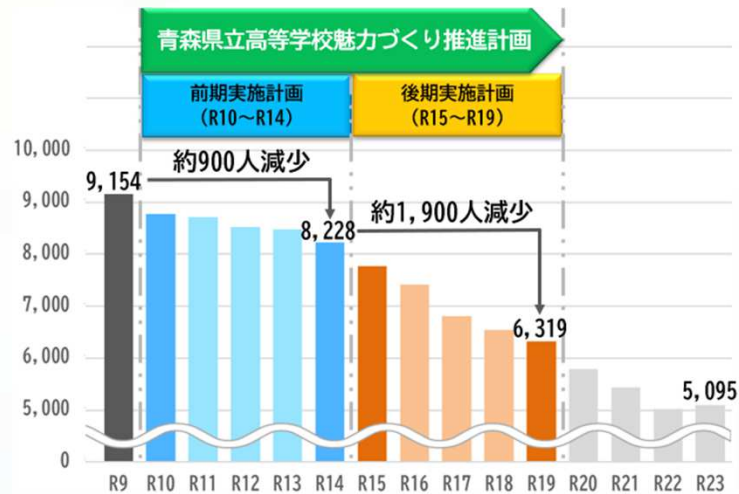
- アドバンスト・エッセンシャルワーカー等の産業イノベーション人財の育成に向けた取組
- 産官学との持続的な連携体制の構築・強化
 - ・ 市町村や産業界と一体となって在り方を検討
 - ・ 地域の課題解決に向けた探究学習
 - ・ 大学や企業等と連携した高度かつ実践的な学び
- 最新技術に対応した高度な施設・設備へのバージョンアップ
- 専門高校の理解促進に向けた情報発信の強化

学校配置の方向性

< 中学校卒業予定者数の推移 >

前期：比較的緩やかな減少

後期：急速な減少



■ 次の事項を踏まえ、中・長期的な視点で将来像からの逆算により検討する。

- ・ 中学校卒業予定者数がほぼ半減することは不可避
- ・ また、変化する産業構造等を踏まえ、新しい時代を主体的に切り拓く人財の育成が必要
- ・ 一方で、中学生の進路選択肢の確保や通学環境への配慮は必要

[方向性]

後期実施計画の状況を見据え、6地区ごとに、中学生のニーズ等を考慮しながら、様々な役割を担う学校を配置